

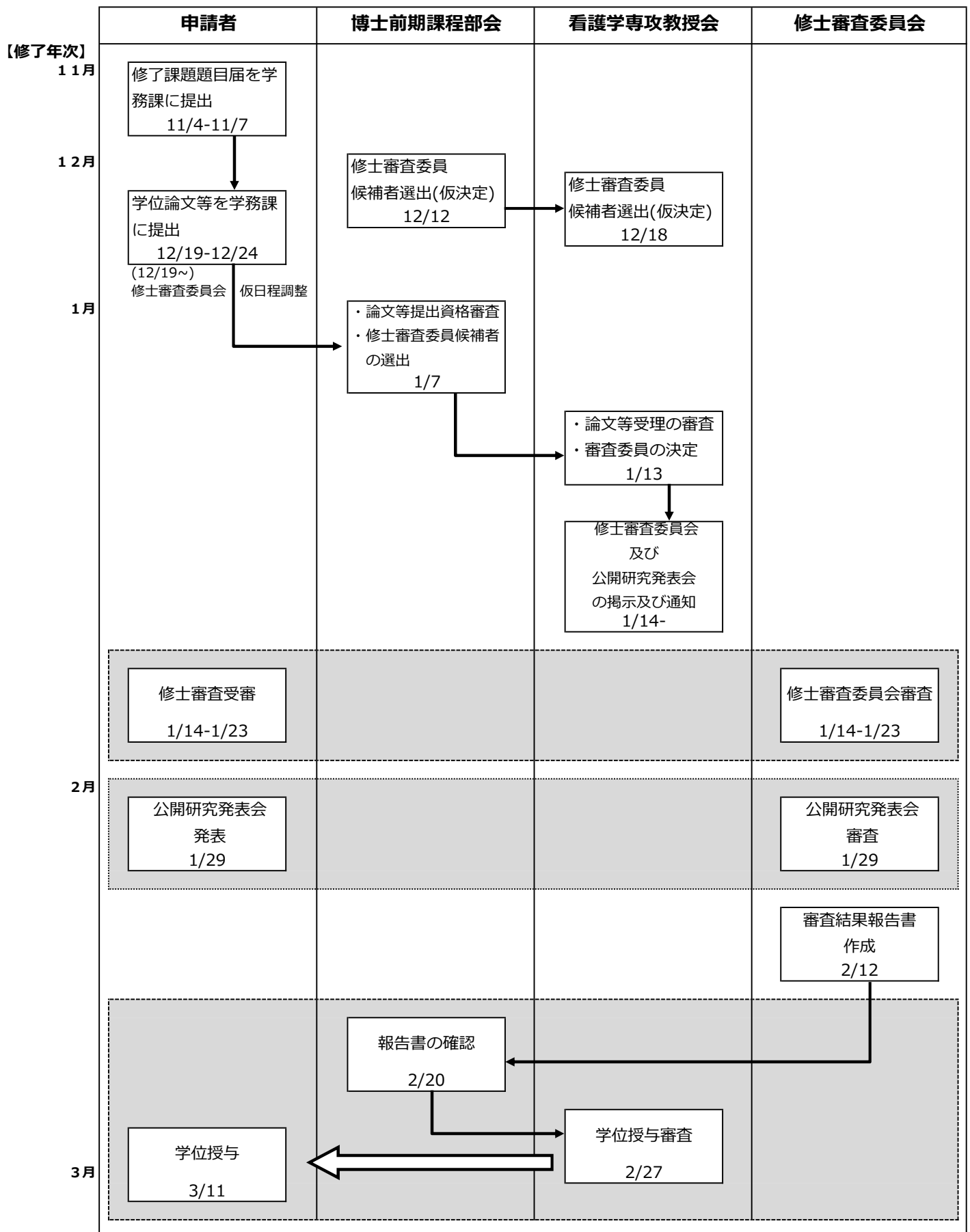
学位審査申請手続要領

(助産師養成コース)

令和7年度

浜松医科大学大学院医学系研究科
看護学専攻博士前期課程

課程修了による学位論文等審査の流れ



【取得可能な学位】

修士（看護学）

【学位申請資格】

1. 大学院に2年在学又は在学見込みの者
 2. 助産師養成コースにおいては、共通科目4単位以上、専門科目57単位、計61単位以上を修得している者
 3. 必要な研究指導を受けた者
- 令和8年1月7日（水）開催予定の大学院博士前期課程部会で審査します。

1. 学位申請書類の提出について

1) 申請時期・申請書類

指導教員、副指導教員（置かれている場合）の承認を得て次の書類を提出してください。

・ **題目届**（別紙様式1...p.6） ※紙媒体と電子ファイルを提出

提出期間：令和7年11月4日（火）9：00～令和7年11月7日（金）17：00（厳守）

・ **学位審査申請書類**

提出期間：令和7年12月19日（金）9：00～令和7年12月24日（水）12：00（厳守）

学位審査申請書類	部数	備考
修了課題審査願	1部	別紙様式2...p.7
＜フラットファイル綴じ＞ 課題研究論文 助産学実習Ⅱ継続事例の助産過程	3部	副指導教員が置かれている場合は4部
課題研究発表抄録	1部	電子ファイルにて提出

・ **修了課題の最終版** ※簡易製本2部（副指導教員が置かれている場合は3部）

提出期限：令和8年2月12日（木）

2) 提出先

申請者本人が、学務課大学院係（講義実習棟1階）に提出してください。

なお、申請書類について、誤記等があれば修正の上再提出になることがあります。

【学務課大学院係連絡先】

電話番号 053-435-2204

E-mail: daigakuin@hama-med.ac.jp

2. 修了課題作成要領

作成要領は次のとおりとする。

学会誌等へ投稿する場合は、当該学会誌投稿規程等に基づき作成すること。

- 1) 課題研究論文（表紙・目次・要旨・本論の順）は、日本語又は英語で作成してください。
助産学実習Ⅱ継続事例の助産過程は、日本語で作成してください。
- 2) 課題研究論文は、原則として横書き、パソコンで作成し、A4用紙を使用してください。余白は上下左右 2.5cm とし、40 字×40 行、英文はシングルスペースです。
字体は日本語「MS 明朝」、記号及び英数字「Times New Roman」を使用し、字の大きさは 10.5 ポイントです。
助産学実習Ⅱ継続事例の助産過程は所定の様式を使用し、字の大きさは 9.0 ポイント以上です。
- 3) 課題研究論文の長さはとくに制限しないが、簡潔な文章としてください。

【表紙】

- ・表紙には、題目、氏名、専門分野、指導教員名、副指導教員名（副指導教員を置かれている場合）、年月（令和 6 年 1 月）を記載してください。（本要領巻末の表紙記載例を参照）

【目次】

- ・目次は A4 用紙 1 枚です。

【要旨】

- ・要旨は、和文と英文で作成し、和文 400 字以内、英文 250 words 以内とします。
- ・キーワード（Key words）は日本語と英語で 5 語以内としてください。
（記入例） Key words： 慢性疼痛（chronic pain）

【本論】

- ・本論は、緒言、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献の順に分けて記述し、頁を挿入してください。

【その他】

- ・図表は図 1、表 1 等通し番号をつけ、本文とは別に A4 用紙 1 枚にひとつずつ作成してください。
- ・文献の記載方法は以下のとおりです。
 - （1）文献については、本文中に著者名、発行年次を括弧表示します。
 - （2）文献は著者名のアルファベット順に列記します。ただし、共著者は 3 名まで表記し、それを超える場合は共著者名の最後に「他」とします。
 - （3）日本語雑誌名は医中誌略誌名（医学中央雑誌刊行会）に、国際雑誌名は Index Medicus（アメリカ国立医学図書館）のタイトル略記（NLM Title Abbreviation）の所載に従ってく

ださい。ただし、両データベースに収録されていない場合は、雑誌のフルタイトルを表記してください。

＜雑誌掲載論文＞

- ・著者名（発行年次）：論文の表題，掲載雑誌名，号もしくは巻（号），最初のページ数-最後のページ数

記入例

浜松花子，静岡富士子，半田太郎他（2020）：助産師が10代妊婦と信じ合える関係を構築していくプロセス，日本母性衛生学会誌，61(2)，52-760.

Hamamatsu H, Shizuoka F, Handa T, et al. (2019): Perception of mutual aid and its related factors: a study of Japanese high school students. BioSci Trends, 18, 355-357.

＜単行本＞

- ・著者名（発行年次）：書名（版数），出版社名，発行地
- ・著者名（発行年次）：論文の表題，編者名，書名（版数），ページ数，出版社名，発行地

記入例

遠州太郎，浜松みかん（2020）：新型コロナウイルス感染症 Q&A，看護の科学社，東京.

4) 修士審査委員会用論文ファイルの作成方法

- ・修了課題は、3 部（副指導教員が置かれている場合は 4 部）をフラットファイル（同じ色を使用する）に左綴じにして提出してください。
- ・フラットファイルの表紙に、修了課題に綴じた表紙と同様のものを四隅に糊付けし貼ってください。
- ・課題研究論文、助産学実習Ⅱ継続事例の助産過程の順に綴じてください。
- ・学会誌投稿規程等に基づいて作成した場合は、当該投稿規程等をフラットファイルの巻末に添付してください。
- ・提出後に修正を希望する場合は、修士審査委員会開催時に修正箇所を示してください。

5) 最終的な修了課題の提出

- ・左綴じで簡易製本したもの 2 部（副指導教員が置かれている場合は 3 部）を令和 8 年 2 月 12 日（木）までに学務課大学院係に提出してください。
- ・課題研究論文のみ製本してください。助産学実習Ⅱ継続事例の助産過程は製本不要です。
- ・製本機（Thermal Bind）及び製本カバーは学務課大学院係にて用意しています。窓口で製本カバーを受け取り、ご自身で製本してください。

3. 課題研究発表抄録の作成要領

- 1) 横書き、A4 用紙 2 ページ以内としてください。

余白は上下左右 2.5cm とし、40 字×40 行、英文はシングルスペースです。

字体は日本語「MS 明朝」、記号及び英数字「Times New Roman」を使用し、字の大きさは 10.5 ポイントです。

- 2) 題目、氏名、専門分野、指導教員名、副指導教員名（副指導教員を置かれている場合）、1 行空けて抄録本文を記載してください。（本要領巻末の発表抄録記載例を参照）

- 3) 提出後に発表抄録の修正を希望する場合は、令和 8 年 1 月 26 日（月）までに修正版を提出してください。それ以降は公開研究発表会抄録集準備の都合上受け付けられません。

4. 修了課題の審査について

- 1) 修了課題の受理・審査委員会の設置

上記の申請資格を満たした者について、令和 8 年 1 月 13 日（火）開催予定の大学院看護学専攻教授会で修了課題の受理及び審査委員を決定し、修士審査委員会を設置します。

修士審査委員会は、修士課程担当教員のうちから、主査 1 名及び副査 2 名の 3 名で構成します（ただし、指導教員、副指導教員は主査にはなれません）。

なお、修士審査委員会開催期間が短いことから、審査委員を令和 7 年 12 月 18 日（木）の看護学専攻教授会にて決定の上、学位申請をする者に通知します。令和 7 年 12 月 19 日（金）以降に修士審査委員会の仮日程調整が可能ですので、適宜対応してください。

- 2) 修了課題の審査・試験

修士審査委員会は、公開で行います。

審査は修了課題（課題研究論文と助産学実習Ⅱ継続事例の助産過程）について、試験は修了課題を中心とした関連分野について、口頭試問により行います。

今年度は、令和 8 年 1 月 14 日（水）から令和 8 年 1 月 23 日（金）の間に実施します。

申請者は、審査委員会委員に連絡をとり、日程調整を行うとともに、会場を確保してください。

なお、開催日程は、掲示で通知します。

- 3) 公開研究発表会

学位申請者は、課題研究論文を公開発表しなければなりません。

1 名当たりの所要時間は、発表 10 分、質疑応答 8 分、計 18 分とします。

今年度は、令和 8 年 1 月 29 日（木）に実施します。

なお、詳細は令和 8 年 1 月 14 日（水）以降に掲示及び通知により行います。

4) 修了課題審査基準

助産師養成コースにおける修了課題の審査基準は以下のとおりとします。

1. 課題研究の研究の意義、目的は明確か
2. 課題研究の研究方法は適切か
3. 課題研究の研究結果は適切か
4. 課題研究の考察、結論は適切にされているか
5. 課題研究の研究遂行と論文記載において倫理的配慮は適切か
6. 事例の妊婦期の助産過程は適切か
7. 事例の分娩期の助産過程は適切か
8. 事例の産褥期の母子の助産過程は適切か
9. 発表は適切に行われたか
10. 質問に適切に答えられたか

5. 学位授与について

1) 修了者の決定

各審査委員会主査は、修了課題の審査及び試験の結果を、修了課題審査結果報告書により、令和8年2月12日（木）までに学務課大学院係へ提出します。令和8年2月20日（金）開催予定の大学院博士前期課程部会において、提出された修了課題審査結果報告書が書式に則っているかを確認します。

上記結果をもとに、令和8年2月27日（金）開催予定の大学院看護学専攻教授会で学位授与の審査を行い、修了者を決定します。

2) 学位記授与式

令和8年3月11日（水）に開催予定です。

詳細については後日通知します。

3) 課題研究論文の公表

課題研究論文は、本学附属図書館において閲覧に供します。

4) その他不明な点は、指導教員又は学務課大学院係に照会してください。

指導教員・副指導教員(置かれている場合)の点検を受けた上で提出すること

別紙様式 1

令和 7 年度修了課題題目届 (助産師養成コース)

令和 年 月 日

大学院博士前期課程部会長 殿

令和 年度入学 専門分野 学籍番号	ふりがな 氏 名	自署または記名押印 印
修了課題題目		
専門領域ではなく専門分野 修士論文題目欄には、題目の英訳を併記する。 <英文題目の注意事項> ・文頭以外は小文字で表記する(副題も) ・ピリオドは不要 ・副題には「 : 」を使用する		
連絡先住所 〒		
TEL () -		

指導教員

印

副指導教員

印

備 考

- (1) 氏名・指導教員の記載は、自署または記名押印とする。
- (2) 修士論文題目欄には、題目の英訳を併記する。(文頭以外は小文字で表記する。)
- (3) 必要事項をすべて記入の上、指導教員及び副指導教員の承認を受け、指定された期限内に学務課大学院係へ提出する。提出時には、電子ファイルも大学院係宛提出すること。
(電子ファイル提出時には申請者の押印及び指導教員の署名・押印は不要)
- (4) 本届を提出後、やむを得ず修士論文題目を変更する必要がある場合は、修士論文審査申請書類提出時に指導教員及び副指導教員の承認を受け「修了課題題目変更届」を提出する。

指導教員・副指導教員(置かれている場合)の点検を受けた上で提出すること

別紙様式 2

令和 年 月 日

浜 松 医 科 大 学 長 殿

令和 年度入学

専門分野

専門領域ではなく専門分野

氏 名

印

自署または記名押印

修 了 課 題 審 査 願

(助産師養成コース)

浜松医科大学学位規程第10条1項の規定により関係書類を添えて申請しますので審査願います。

修了課題題目

「題目届」にて届け出済の題目と同一とすること。

※
受付年月日
受付番号

令和 年 月 日
第 号

記入しない

指導教員

印

副指導教員

自署または記名押印

印

指導教員・副指導教員(置かれている場合)の点検を受けた上で提出すること

別紙様式 3

令和 7 年度修了課題題目変更届 (助産師養成コース)

令和 年 月 日

大学院博士前期課程部会長 殿

令和 年度入学		ふりがな		自署または記名押印
専門分野		氏 名		
学籍番号		印		
修了課題題目		専門領域ではなく専門分野		
連絡先住所 〒				
自署または記名押印				

指導教員

印

副指導教員

印

備 考

やむを得ず「修了課題題目」を変更する必要がある場合は、必要事項をすべて記入の上、指導教員及び副指導教員の承認印を受け、修了課題提出時に学務課大学院係に提出してください。提出時には、電子ファイルも大学院係宛提出してください。(電子ファイル提出時には申請者及び指導教員の署名等は不要)

【修士論文等表紙記載例】

(余白 上 70mm)

(余白 左 40mm)

(余白 右 40mm)

題目 14P 中央揃え

線維化病変を伴った肺由来の線維芽細胞
遊走能の亢進

副題の記載方法
破線(～)、ハイフン(―)、
コロン(:)は、届け出済の
題目と同一とする

—○○○○○○○○○○○○○○—

英文題目 14P 中央揃え

Enhanced migration of fibroblasts derived from lungs
with fibrotic lesions

: ○

学籍番号・氏名 12P 中央揃え

M○○○○○ ○ ○ ○ ○

専門分野 : ○○看護学

12P 上段と左端を揃える

指導教員 : ○ ○ ○ ○ 教授 (准教授)

12P 中央揃え

副指導教員 : ○ ○ ○ ○ 講師

12P 上段と左端を揃える

年月 12P 中央揃え

令和6年1月

(余白 下 40mm)

【修士論文等発表抄録記載例】

題目 10.5P 中央揃え

線維化病変を伴った肺由来の線維芽細胞における遊走能の亢進

—○○○○○○○○○○—

Enhanced migration of fibroblasts derived from lungs with fibrotic lesions

: Δ

副題の記載方法
破線(～)、ハイフン(—)、
コロン(:)は、届け出済の
題目と同一とする

M00000 浜松__花子

10.5P・中央揃え・氏名の間にスペース

専門分野：○○○○看護学

指導教員：ΔΔ__ΔΔ__教授

10.5P・上段と左端を揃える

副指導教員：(置かれている場合に記載)

題目、英文題目、氏名等は太字にしないこと

[緒言]

食後体が温かくなったり眠くなったりすることは健常者でも経験することである。しかし近年○ 自律神経障害患者、高齢者、糖尿病患者、. (中略)
. を広く検討していく必要がある○

[方法]

○ 食後睡眠や.

※1 (注意) 句読点は「、(読点)」・「。(句点)」を用いる

※2 (注意) 見出しの後には、改行し、文頭を1文字空けて書き出す

※3 文字サイズは10.5ポイントとし、日本語「MS 明朝」、記号及び英数字「Times New Roman」とする

[結果]

[考察]

[結論]

※ [方法] には倫理的な配慮等について(例;「倫理審査委員会の承認を得ている」旨等)必ず記載してください。

※ 引用文献を記載する場合は本文中に記載すること。

(例) ことが報告されている(Murphy, 2007)。